

仙台商工会議所ってこんなトコ



本コーナーでは、仙台商工会議所をより多くの方にご利用いただくため、当所の事業活動をご紹介します。



平成25年の仙台商初売りの様子。福袋などを両手に抱えた買物客でにぎわった。

仙台商初売りについては、藩政時代の文化文政（1804年〜1824年）の頃に発行された「仙台中行事」に記述が残っています。「2日朝早くから店の格子戸をたたいて初売り初買い」とあり、少なくともこの頃には行われていたことが分かります。

日本では、2日は「初夢・書き初め」など「年始始め」の吉日とする考えがあり、仙台商人たちは、この正月2日に、1年の変わらぬご愛顧と謝恩の気持ちで、豪華な景品をつけた「仙台商初売り」を実施していたのです。

第8回

仙台商人が守り続ける伝統行事 「仙台商初売り」を支援しています！

仙台商初売りは、いつから行われているの？

仙台商工会議所はどのような関わっているの？

仙台商工会議所は、主に、「仙台商初売り」の1月2日の一斉開催を呼びかけるなど、長い歴史を持つ伝統行事の継承と盛り上げを図っています。

実は、「仙台商初売り」は一貫して2日に開催されてきたわけではありません。

昭和50年から約20年間は、従業員の労務対策等の観点から3日に行われた時期もありましたし、大型小売店からは元日営業の相談も受けてきました。

こうした近年の社会情勢などを背景に、当所では平成13年に、学識経験者や消費生活者、商店街、大型店も含めた商工業者などによる「仙台商初売りを考える会」を設置し、「仙台商初売り」は正月2日に全市一斉に行うものとするなどをはじめとした検討結果を取りまとめています。また、同年、「仙台商初売り」をよりよくする検討会」を立ち上げ、仙台商初売りをメインキャラクターにしたミニタオルハンカチセットなどの「仙台商初売り縁起記念品」を作製したり、ホームページ「仙台商初売りドット混む」を開設したりするなど、伝統の「仙台商初売り」を広くPRしています。

「仙台商初売り」が他の地域と違うのはどんなところ？



商店街では、福餅や甘酒などがふるまわれ、正月気分を華を添えている。

「仙台商初売り」の魅力は、何と言っても、買い物客に供される、豪華景品や割増商品券などではないでしょうか。「仙台商初売り」では、本来であれば公正取引委員会の景品提供制限の対象となるものでも、藩政時代からの伝統性が考慮され、特例が認められています。

また、市内の大型小売店では元日から営業をしているお店もありますが、当所からの呼びかけにより、営業はしていても、元日には「初売り」という名称を使わない、初売りに伴うセールやバーゲン等を行わないなどのルールを順守していただいています。

「仙台商初売り」は、商工業者の側だけでなく、買い物客にとっても「お買い初め」の縁起行事。来年も正月2日に市内一斉に開催するので、ぜひ足を運んでください。



時代が求めるクリーンエネルギー 太陽光発電システム

環境に配慮し経済効果を生み出す太陽光発電システムは、非常用電源としても機能するこれからの必需品。皆様のシステム化をお手伝いいたします。



お問い合わせは

株式会社TTK コミュニティ事業本部 環境システム部
tel.022-297-6888 fax.022-297-5158 <http://www.ttk-g.co.jp>